

草 生 人

草加で楽しく快適に暮らそう
そうせいじん

花と飾ろう。

草加のお花屋さん

●元気人紹介●

草加 UC 代表：勝間 翼さん

●草加イベントレポート●

「草加ふささら祭り」

「埼玉 B 級グルメ王決定戦」

「市民防災訓練」ほか

●そうかまちだより●

「喫茶店ツネから新田東口を見守る…」

「知る人ぞ知る日野屋の味噌がある雑貨屋…」ほか

Photo：フラワーあつみ

2013 / 01 ・ 02

花も飾ろう。

美しく華やかな中に

自然の強さと弱さを同時に秘めている。

「本でも力のある「花」。

日本人にとっての花は、

長い間「お供え」の花だった。

しかし時代は移り、

花は「贈り物」の定番となった。

ダイニングテーブルの真ん中に、

仕事のデスクの片隅に、

世間が暗く感じる今こそ

身の回りを花で飾ろう。

りんとして立つ花に、

自然の力と心の余裕をもらおう。



創業 66 年、地元に愛される老舗花屋さん

草加市高砂 1-7-11 048-922-2556

花政

花政は、取材させていただいた花屋さんでも必ず名前が挙がる、古くからある草加の代表的な花屋さんだ。市役所の手前、店の前にずらりと切り花が置かれ、道の反対側には鉢が並ぶ。商店街にある店としてはかなり大きな店舗だ。店頭には、昔の市庁舎や市立病院の写真が貼ってある。

2代目の鈴木さんにお話をうかがった。

創業は昭和21年、開業した年に生まれ、22才でこの仕事を引き継いだ。現在、3代目となる息子さんも一緒に働いている。

今鈴木さんは花政がある市役所通り商店会の会長をされている。昭和の時代、この通りは酒屋やお菓子屋、八百屋や魚屋などが並ぶ賑やかな商店街だった。が、今は店が少なくなってきた。最近お祭りが前より元気が無くなっていますねと伝えると、「なんとかしなくちゃいけないね」。

主なお客さんは「中高年のおじさん、おばさん。若い人もけっこう多い」。

通信販売も扱っている。業界では一番大手の「花キューピット」だ。

店頭には切り花の105円コーナーがある。バラエティに富んでいて、ちょっとした花束が手軽に作れそ

うだ。ただ、これを買っていくのはほとんどがリピーターの方だという。「市役所の帰りとかに来る人もいるけれど、7、8割はリピーター」特によく売れるのは、仏花、菊などのお供えの花。

「昔から、仏壇に欠かさず花を供え、しょっちゅう花を持って墓参りにも行く」。花政のお客さんは、そんなお客さんが多いという。105円コーナーには菊がたくさんある。

「うちは仏花屋だから菊だけはいっても105円で売ってる。ほかよりずっと安い」

花をいかに安くお客様に提供できるかを、常に考えているという店主。よい花を安く。それが強みだと話す。

行事などでたくさん花が必要とき、臨機応変に対応してくれる、心強い「地元の花屋さん」なのだ。



フラワー あつみ

夢は草加の街を花でいっぱいにする

草加市金明町 226-19 048-931-3661



旧4号（足立越谷線）沿い、隣は越谷市という綾瀬橋の近くにフラワーあつみはある。ピンクのきれいな建物と、建物の横にある広いスペースを埋める花々を見れば、すぐに花屋さんがあるとわかるだろう。ご主人の杉浦政亮さんにお話をうかがった。店長は奥様だ。インタビュの間の客さんが絶えず、明るい会話がずっと続いていた。駅から距離はあるが、常連さんも多い。「おかげさまで繁盛してるんですよ。店長がしっかりしてるからね」

フラワーあつみの「あつみ」は、出身地である愛知県の渥美半島から。最初に店を出したのは西新井。「あの当時は忙しかった。よく売れたよ。女房も子どもをおぶって西新井大師の中で売っていた。バブルが始まる前くらいかな」

子どもが3人になり、育てながら売ることの出来る店を探して昭和55年に草加に来た。最初は市場で仕入れた花を東京にある花屋さんに卸し、残りを販売していたが、10年前に卸をやめ、今の形になった。外にはずらりと鉢物が並び、店の奥壁面は天井まで切り花が埋めている。

「うちはアレンジメントやブーケま

で、何でもできますよ」

ただ、これからお店をどうしていくかという経営方針で、「店長」とたまたび意見が合わず、けんかになることもある。

「僕は温室を作って、いい品物を安く売りたい。2階くらいの大きなハウスにして、そこに喫茶店みたいなゆつくりした空間を作る。お客様にゆつくりしてもらって、楽しんでもらって、帰りになんか買ってもらえらる、そういう風にしたい」

杉浦さんが思い描くのは、街を花でいっぱいにして、花の力で人の心を癒し、世の中を明るくしたいということ。そのためにいい花をできるだけ安く売っている。「美しいものを見て怒る人はいないよ。花を飾って、それを見た人が『わあ、きれい、私もマネしようかな』という気持ちになって欲しいんだよ」

以前、新田東口の「ふれあいロード商店会」の飲み屋街に、花壇を無料で提供したこともあるという。「草加を訪れた人が、花がいっぱい咲いているきれいな街だよ、と言ってくれたら70才を超えていらっしやるが、まだこれからだからね。あと10年くらい頑張りたいね」ときらきらした目をして笑った。



草加 ガーデン

人と人との繋がりを大事に、ネットにも強い

草加市栄町 2-8-20 048-935-4055



松原団地駅と、草加文化会館の間にあるお花屋さん。文化会館でのイベントで花が必要なときは、ここで買われた方が多いのではないだろうか。店長の和田一秀さんにお話を伺った。

開業は1968年。松原団地ができて住宅地が整備され、庭の需要を見込んで造園業を開業。その後生花を扱うようになり、今に至っている。毎日その日に届いた生花を集めて組み合わせた千円のアレンジメントは「お客様から、希望のものがいつもあるのでありがたいです」というお言葉をいただいています。

草加ガーデンの大きな特徴は、28年前から「通販」を始めていること。現在はフジテレビのフラワーネット（※1）とイーフローラ（※2）を通して、全国から受注し、配達を行っている。

そして今は、インターネットを使った注文が増えているという。仕事の休憩中にごはんを食べながら、「ちょっと花を贈るの忘れたから注文しましょ、という気楽な感じで」利用する。電車の中、ケータイからと思われる注文もあるそうだ。

コンビニ支払いや当日配達、配達のエリアが広がるなど、サービスが充実してきているのだ。「ネットを通して注文してくださる方は、リピーターさんがすごく多いんです」

店には幅広い年齢の人が訪れるが、ずっと来店してくれる年配の方も多いという。

「お花と関係ないこと、世間話などしていると、明るくなってお花を買って帰ってくれて、そういう方がまた来てくれます」

「花屋は大変な仕事。でも、人々との繋がりがあからこそ続けられただんたと思えます。お客様の喜ぶ顔が見ると、良かったなとも思えます、ありがとうございます、ですね」

鉢物からアレンジメント、プリザーブドフラワー、注文に応じた花束、ディスプレイ用の花、バルーンを用いたアレンジディスプレイも展開している。また、造園も提携している腕のいい職人さんを紹介しているとのこと。

「夜8時まで営業して、急なご注文にも対応しています。花のことならほとんどまかなえますので、ぜひいらしてください」





フラワーデザイン技術のすべてをお客様に

草加市草加 3- 5-34 048-944-8778

花の店
デコール



デコールは草加市立病院の道路を挟んで反対側にある、小さなお花屋さんだ。市立病院ができて半年後に開店。ご主人の金谷睦子さんが一人で切り盛りしている。

「ここは10年もてばいいわって大工さんに建ててもらったんです。一生やるとか後継者とか抜きにして、とにかく花屋をやりたいって」

草加で最初に始めたのはフラワーアレンジメントの教室。道の反対側にある喫茶店「茶房平」のママも生徒さん。茶房平の魅力の1つともなっている生花には、デコール調達のものも多い。

花の世界には、土いじりから入り、そのとき花は自然のものが一番だと思っていた。だが、生け花を習う機会があり、そこで「フラワーデザイン」の世界にはまったという。フラワーデザインを学んだのは『マミフラワー』（※1）。『NFD』（日本フラワーデザイナー協会（※2））の資格、国家資格である『フラワー装飾技能士』（※3）資格も取り、花の色と注文のイメージをより客観的にとらえられるよう心がけている。

たとえばケーキだったら誰がパティシエかが問題になるが、花はそれだけでも力がある。華やかで、人に夢や感動をもたらす、後に残らない。悲しい時、うれしい時、人の心をなごませてくれる。

インタビュースさせていただいた時間は1時間半ほどだったが、その間何回も客が訪れた。常連の方も多い。お客さんの要望にはなるべく応え育て方、扱い方、生け方、知っている知識は提供できるようにしている。

古い花は「お留守番花」。こんな花もあると、花の見られるうちは紹介の意味で飾っているが、保たないことを正直に伝え売り物としない。

「母の日、お誕生日と来ていただいで、去年も来たわよ、と言われるとやっぱり手を抜けない。一回手を抜くとそのお客さん逃げちゃうから」

小さな店の奥にある高級な菊や百合の花を手に取りながら、「せいこのまこと」「カサブランカ」などの品種を説明する様子には、花への愛と強い自信が感じられた。

「自分のこだわりって、自分がやらなくちゃだれもやってくれないんです。それがいいか悪いかはお客さんの判断すること。お客さんがそのこだわりにお金を出してくれるのは、ありがたいなあって思いますね」



フラワー
SOKA

お客様の要望にぴったりの花束を

草加市高砂 2- 7- 1 アコス専門店街 1 階 048-927-8700



フラワーSOKAは、アコス南館の1階にある花屋さんだ。年末や母の日、クリスマスにはヨーカドー南口の外でも花を並べており、草加駅周辺で買い物される方はよくご存じだろう。経営は谷塚などでも花屋を展開している「オフィスフラワーガーデン」（※4）が行っている。インタビュースをさせていただいた木月由恵さんが店長を務められたのは5年前から。

景気が良くないと言われているが「客数は伸びています」。

贈答品の注文も増えている。アコスホールがあるので、定期的に行われる発表会での需要も多い。店舗の前には、花束、アレンジメントがずらりと並ぶ。

「花ってちょっと買い慣れないと来づらいところがあるから、ミニブーケなどを店頭で並べて、気軽に立ち寄れるようにしています」

取材させていただいたのは12月。店頭にはたくさんのおクリスマスリースとお正月飾りが吊るされていた。「全部オリジナルの手作りです。毎年やっているの、リピーターのお客さんも多いですよ」

今の時期一番込む時期ですね、と伺うと、実は「母の日」が一番大変だとのこと。「お母さんと思うお客様が大勢来店されて、愛されているんだなあって思います。オーダーや

作り置きのために、前日はいつも夜中の12時くらいまで作業しています」

一番うれしいのは、「お客様からテ

マをいただいて、それに応じて作る時。楽しいですし、それがずばり合った時にはすごく喜んでくれるので。15分くらいでリクエストに応じた花束を作る。お客様が何を求めているか、どんな人に贈るのか、色や花種の好き嫌い、さまざまな事柄を、会話を通して判断していく。「何でもいい、おまかせ、という中にも思い描いている何かがあると思うんですよ、だから色味とか聞き出したります」

季節を問わずフロアには花のいい香りが漂い、「来て癒されるわ、というお客様もいらっしゃるそう。また、花の種類も豊富で、珍しい花があると喜ばれているそう。

花屋としては、建物内にあるため、道行く人やホールのイベントに遠くから訪れる人に発見されにくいことが難点だと言いが、一度訪れた人はきっと知り合いに勧められているだろう。そんなまったりとした雰囲気がある花屋さんなのだ。



草加の花農家

12月9日に開催された第44回草加市農業祭で、特別賞として15件の作物について表彰が行われた。小松菜や小かぶなどに交じって、生花の受賞が2件あった。バラとシクラメンである。バラは「田中バラ園」、シクラメンは「鈴木園芸」からの出品だ。

商業都市草加。だが草加は多くの農家も抱えている。そして花を栽培する農家も意外と多い。とくに菊は明治時代から栽培されている市の特産品のひとつで、谷塚、新田地区を中心に40戸ほどの農家で栽培されている（※1）。

そんな中、約40年前から新しい花の栽培に挑戦してきたのが、田中バラ園と鈴木園芸である。

田中バラ園

田中健一さん

「洋花が普及する」と
将来を見通してバラ栽培に挑む

草加にバラ園がある。

約40年前、田中健一さんは「これからは洋花が普及する」と将来を見通し、バラ生産先進地、愛知県で研修を受けてバラ栽培の技術を習得した。そして、両親が農業を営んでいた土地で創業した

のがこのバラ園だ。

現在は6棟のハウス（合計約670坪）で1年を通して上質なバラを栽培している。草加市農業祭や共進会での受賞の常連である。

ハウスに入れているだけでなく前に田中さんがおっしゃった。

「バラ園というところの花が咲き乱れているイメージがあるかもしれないけど、そういうものではないよ」

たしかにハウスの中は花よりはびっしりと生い茂る葉っぱが先に目についた。その葉っぱの間から1本ずつ、まっすぐにバラの花が伸びていた。この密度の濃い葉が天井のガラスを通して日光をたっぷり浴びることで、花をより美しく咲かせているのだ。

赤、ピンク、黄色など色とりどり、様々な大きさや形の花がある。現在は14種のバラを栽培しているという。

年間を通して品質レベルが高いバラ

バラの難しさは第一に病気対策だという。うどんこ病やダニなど、バラ特有のいろいろな病気や害虫を防ぐため、消毒や温度、水の管理などを精密に行っている。

足立区の花市場「第一花き」が運営しているインターネットのブログに、田中バラ園の花や設備、栽培技術などについて、専門家による詳細な解説が掲載されている。

「ひいき目なしに見ても、こちらのバラは、年間を通して品質レベルが高いです。いつもバラをよく見ている証拠です」（第一花きのおすすり生産者ブログより）

草加のバラ園が高く評価されていることは、市民として誇らしい気分だ。

鈴木園芸

鈴木眞治さん

生活の中に花を取り入れる習慣が根付いてきた

鈴木さんは、国内の先進農家で2年、オランダで1年研修を受けた後、25歳のときお父さんの代まで農業を営んでいた土地で花栽培を創業した。37年前だ。

現在4棟のハウス、計約500坪で花を栽培している。

草加市農業祭で何度も表彰されているシクラメンを主体に、ペゴニア、ペチュニア、パンジー、ビオラなど、また初夏には草加市の朝顔市のために朝顔を栽培している。

今ではお店や一般家庭で鉢花や観葉植物が飾られているのが当たり前になっているが、昔はそうではなかった。

「40年ほど前に研修で行ったオランダは花の消費がすごく多くて、花のない家はまずなかった。当時日本はまだまだでした」と鈴木さんは話す。

時代が移り、1980年代ごろから日本人も気が持ちは豊かになって、生活の中に花を取り入れる習慣が根付いてきた。

「生産技術が上がったおかげで花の生産量が増え、また安くいい花がいろいろ買えるようになりました。消費者にとっていいことだと思いますよ」

日本の農業技術は素晴らしい

鈴木園芸で作っているシクラメンは10種類以上だ。昔は赤、白、ピンク、紫くらいしかなかったが、今では品種改良が進み、赤にもいろいろな赤があるし、ピンクにも薄いものから濃いもの、派手なものまで、色も形もじつに多彩になっている。

「農業分野全般に言えますが、4シーズンあつて温度差も激しい過酷な環境で生産しているのは日本しかないです。日本の技術はすばらしいです」

鈴木さんは「農業は奥が深く面白い」と語る。若い人に伝えたいメッセージだ。

田中バラ園：草加市金明町 1196

048-941-1300

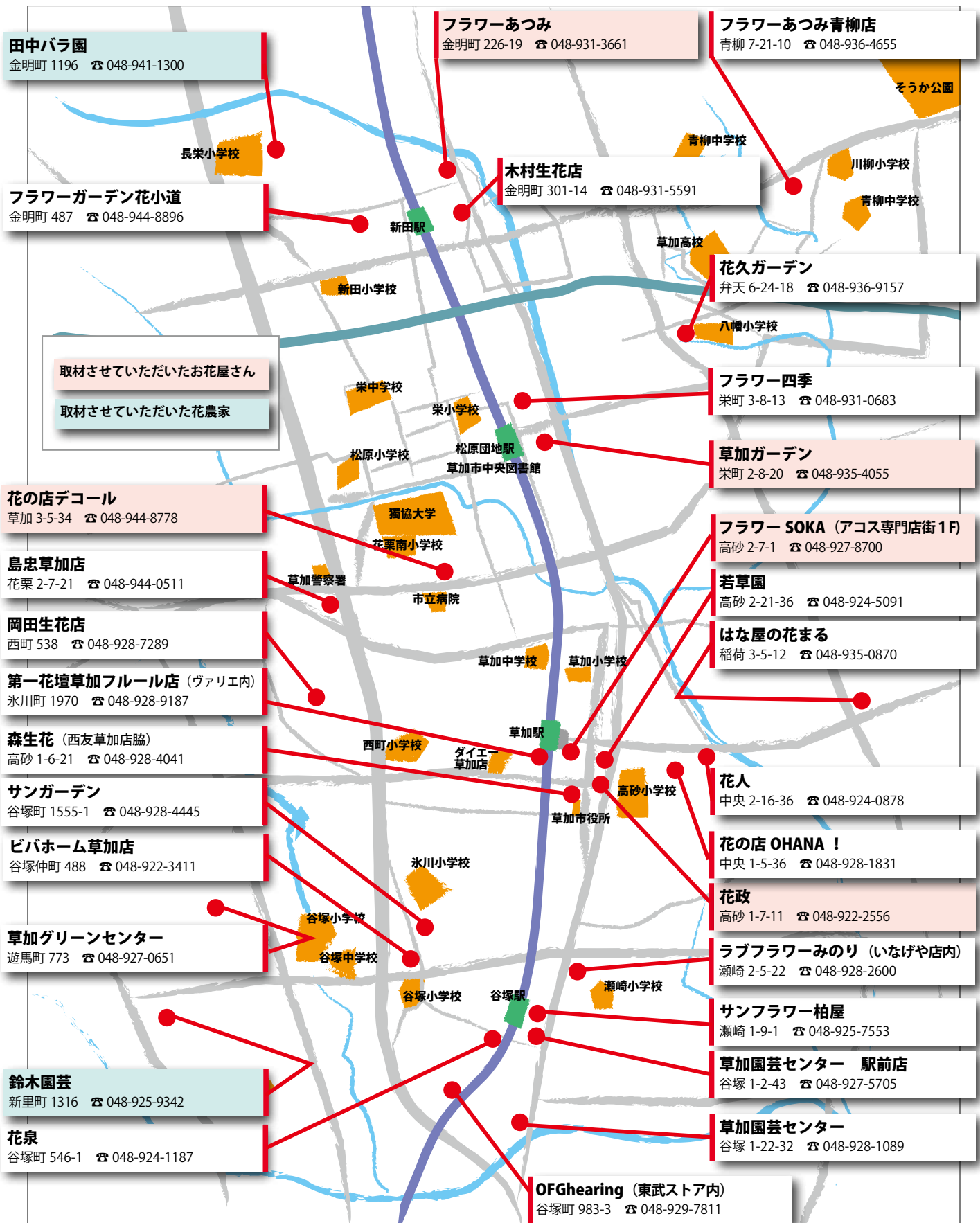
参考：(株) 第一花きのおすすめ生産者ブログ & 掲示板
<http://daiichikaki.blog.fc2.com/>

鈴木園芸：草加市新里町 1316

048-925-9342

ホームページ：<http://www.suzukigarden.com/>

草加の花屋さん MAP + α



そうか ■まち だより



ふれあいロード商店街理事長大串さん 喫茶店ツネから新田東口を見守る

新田駅東口、小さな駅の駅前広場の右奥にある「喫茶店ツネ」。そこに商店街をまとめている元気な女性がいるという噂を聞いて訪ねた。彼女は「ツネ」のママ、大串好子さん。「お話伺ってるわよ」と、にこやかに迎えてくれた。

新田駅は、初めて降りると戸惑つかもしれない。東口は広場はあってもバスが入らず、西口も自転車置き場が駅前を塞いでいる。現在「市街地整備事業」として再開発の計画が進められている。すでに都市計画は決定し、2年後には工事が始まる予定だ(※1)。

大串さんは秋田の生まれ。18才で上京し、保育の専門学校に通う。乳児院や保育園の実習で子どもたちと楽しく遊んでいる。母親がお迎えに来ると「お母さん」と去ってしまうのがとても哀しく、子どもが欲しいと強く思っている。卒業と同時に結婚。喫茶店ツネのオープンには昭和52年(1977年)の9月、36年目になる。

「主人が南千住に第1号店を出して、ここは2号店。ただ、平成元年に主人が亡くなって1店はつぶしちゃいました。主人が10年やって私が24年やってたという感じがします」

「子どもは3人、下が3才くらいいるときに主人が亡くなったのだけれど、すぐく周りが支えてくれて、だから

ここまでこれたと思う。たぶん子どもたちは寂しい思いしてないんじゃないかな。人の縁というのはものすごく大事。人と会話するために喫茶店やっているという感じがします」

みなさんにお話になり、やっと気持ち的に落ち着いたので、「今度は自分が、と思って『新田ふれあいロード商店街』の理事長になりました。ちょうど23回忌終わった後なんです」。

商店街の今の企画は各店舗で配る「三角くじ」だ。各店舗ごとにくじを作り、それを集めてシャッフルしてから戻す。各店舗でくじを引くと、商店街の他の店のくじが当たることもある。

「そこから『そのお店どこにあるの?』ということになるでしょ。各店で仲間を宣伝しようっていう仕組みが三角くじなの。チームワークがないと商店街が成り立たない。たまにあそこにくじいらないわ、ということが起こるんですけど、それをうまくコミュニケーション取るのが私の仕事だと思ってる」

「リーダーシップなくて、夏のイベントは知人に助けてもらってたんです」と遠慮がちに笑うが、コミュニケーションを大切にして多くの協力者を得て、これこそ会長の資質なのではないかなと思う。

新田の再開発で、ふれあいロード商店街は1度解体されることになる。町並みは全部変わる。駅前の建物も全部無くなる。「ツネ」も。

「すごくいいチャンスだと思うの、ダメなところを全部直す、これから何か立ち上げよう、という若い人達が商店街を作れるかもしれない。今始めれば理想的な店ができますね」

新しい商店街は、車がいっぱい通らないようにしたいという。「人の流れを作りたい。宅急便やさんは大きい道路から台車で運んで」

また、「商店会でコミュニケーションを取ることのできる箱みたいなものを作りたい」とも話す。

2年後から工事が始まり、15年後に完成する。長い道のり。「これから始まるんですよ」

知る人ぞ知る「日野屋」の味噌と 生命力を育む野菜がある雑貨屋



ヨーカードアコース店(草加駅東口駅前)の1階、ケンタッキーの隣で、ときどき野菜がどんと積まれていることに気がついていても多いだろう。野菜だけではなく、「当たり前」の本当の事を」と独特の文字で書かれた垂れ幕の下、味噌や醤油、納豆などの発酵食品もあって、その周りは文字だらけ。いったいこれは何だろう、ふと足を止めると、人なつこい笑顔で話しかけられる。彼女は、輸入雑貨の店「Bee」、そして那須高原で野菜や発酵食品を作っている「アロハファーム」の店長さんだ。

なぜ、雑貨屋さんが食品を扱うようになったのか。4年ほど前、手作り無添加の味噌を販売している「日野屋」と巡り会った。

「私はこの味噌を食べたときに細胞が喜ぶのがわかった。おお、これは凄い味噌だっと思って、1年間毎週通ったの、うちに入れてくれ入れてくれた」

最初はがんとして譲らなかった日野屋の店主も、その熱意に負けたのか、販売を許してくれた。「今では親友です。出逢いが人生を変えるよね」

日野屋の「活かせる味噌」は関東ではここできれい扱っていない。すべてが手作りのため大量生産できないからだ。だから遠くからも買いに来る人がいる。

米や野菜は、那須高原の地元農家の方と協力して作っている。1週間のうち半分以上を那須で過ごし、週2日野菜を持って草加に戻り店頭で並べる。単なる有機野菜ではなく、土から吟味した美味しくて体にいい、「免疫力を上げる」野菜。



「私たちは「食医」をめざしてものをつくり、販売しています。お客様が顕著に元気になっていく姿を見て、それを励みに、本心、本音、本物、本気、本腰でがんばってます!!!」

農業を始めたことで、さまざまな繋がりもできた。「東日本大震災の時、那須町は電気もガスも何も無く、救済物資も届かない状態。こちらで何人かのお客さんに声をかけて、トラック4杯分もの救済物資を届けました。他県から行ったのは草加だけ。また、震災をきっかけに毎年「町おこし」として友人のハワイアンダンスサークル60名を引き連れ、フラダンスフェスティバルを企画しています。那須町と草加市の架け橋ですね」

インタビュしている間も、たくさんの人と挨拶し、食の話をしていった。「老若男女、食べ物の話はみんな同じ『ありがと、おいしかったよ』」と目を輝かせているの」

お店ではいつも「ありがとございました」ではなく「ありがとございませう」と言っている。「現在形と過去形と違いますよね、『ありがとございませう』というのは本当は奇跡をありがとございませう」というのは本音が奇跡、異常気象の中でもちゃんと野菜が育ってくれた、食べることで健康になった、だからありがと。過去形にする奇跡がいつあったという感じがして」

「先人達の知恵を学んで、より質の高いものづくり、質の高い豊かな暮らしを提案したい」と目標を語る。将来はさらに、植物エネルギー、バイオ燃料を使って車を動かすことも考えているという。

「農業には無限の可能性がある。何が未来を創れるかって毎日考えています。未来は想像して創造していきますよー!」



市民防災訓練・地域防災フォーラム

2012年11月11日 西町小学校



「草加市市民防災訓練」は、草加市町会連合会（※1）の各ブロックが主催する形で行われる避難訓練だ。今回は草加西部ブロック（※2）で、この形の訓練は最後とのこと。

訓練の想定は「午前9時頃に東京湾北部を震源地とする直下型地震が発生、草加市は震度6弱を観測」。各町会・自治会が地域をまとめ、指定避難所である西町小学校に避難する。今回の参加者は約800名。

校庭では、東京電力などライフライン各社の説明ブースが、また、土のう作り、初期消火訓練・AED取扱訓練、煙体験、起震車のコーナーなどがあり、体験を通じて防災の知識・情報が得られるようになって

さて、この訓練中、西町小体育館では、関係者スタッフによる避難所設置の訓練があり、午後には「地域防災フォーラム



ず参加しようと思う。今度は周りを誘って必ず参加しようと思う。

あとで調べたら、どうやらそうか公園修景池は野鳥の楽園らしい。

「しらこぼとNETWORK」というサイトの「そうか公園（草加市）」というページ

草加ふささら祭り

2012年11月3・4日 左岸広場・松並木・足立越谷線ほか



2012年11月3日（土・祝）と4日（日）の2日間、草加の街はイベントであふれかえった。

「第4回草加ふささら祭り」と「第21回草加商工会議所まつり」という2大イベントを中心に、「獨協大学雄飛祭」「バイン・ジャズフェス2012」「ファミリィ寄席」「文化の広場2012」「綾瀬川再生21事業 綾瀬川クルーズ」など複数のイベントが同日開催。全貌を把握するのはとうてい不可能な規模だった。

以下、記者が目にしたものを中心にレポートしたい。

11月3日、綾瀬川左岸広場は「草加商工会議所まつり」。

会場の片隅で「ロボットプロレス」が行われていた。小さなマット上で繰り広げられるロボット同士の死闘。様々な形のロボットたちが殴り合い、蹴り合い、投げ合

う。さらにはギャグの身振りまで繰り出す。ロボット技術がこんなに進歩・普及したのかと驚いた。リングサイドのアナウンサーと解説者のやり取りも堂に入っていた。完成度の高いエンターテインメントだった。バラエティに富む模擬店の多さ、多彩さは相変わらず素晴らしい。和、洋、エスニック、ご当地B級グルメなどなど。今年は焼き鳥店の多さが目に付いた。長い行列を作っている焼き鳥店は値段がほかより安かった。それに対抗するためにマジックで値段を安く修正した店もあった。

11月4日、綾瀬川左岸広場メインステージでは、ふささら祭り内のコンテンツとして「踊るんよさこい」というよさこいコンテストが行われていた。埼玉県内と近県から、そして福島から集結した35団体が次から次へとステージに上がって演舞を披露

した。パンフレットによると踊り子は総勢二千人ということだ。

草加市の職員で結成された「草加・暁（あかつき）☆」も登場。田中市長が旗師として参加していた。

なんでもありのよさこい踊りだ。びしつと手足がそろったジャズダンスや本格的なヒップホップも見事だが、楽曲にも振り付けにもタンゴを取り入れたチームは初めて見た。迫力ある女性の和太鼓演奏を中心に据えたチームもあった。

日が落ち始めたころ、フィナーレの総踊りが始まった。「うらじゃ音頭」で二千人の踊り手がいつせいに踊った。踊りながら手をつなぎ輪を作った。最後には客席を取り囲む巨大な輪ができていた。輪の外では、各連の旗師が大きく振り回す色とりどりの数十本の旗が乱舞。

2日間にわたる巨大複合フェスティバルのフィナーレにふさわしい、すばらしいエンディングだった。



草加小話

この文章は、メルマガに月1で連載している「草加小話」からピックアップしたものです。

本誌の「そうか小ばなし」の増刊号的な位置づけで、テーマは「草加再発見」。「お、草加ってこんなところもあったのか」「こんなことしてんだ」と思っていたら嬉しそうです。

年末の午後、写真が趣味の娘につきあつてそうか公園に行つた。広い敷地を歩いていれば何かいい撮影対象があるだろうと思つたのだ。

そしてひょうたん型の「修景池」で、格好の撮影対象に出会つた。対岸付近で大騒ぎしている無数の水鳥だ。岸辺にいる親子が餌を撒いているのだった。

娘はあわてて対岸へ走つた。

水上にいる数種類の水鳥はカモの仲間だろうか。小さい女の子が投げ入れる餌を求めて殺到する鳥たちのアップや集合写真、そしていい表情を求めて娘はシャッターを切つた。滑空して着水し餌を強奪する白い鳥もいる。1度など女の子のお父さんがまだ手に持っているパン切れ目がけて飛んだまま直に奪い取る場面もあった。

シャッターチャンスの連続に娘は熱中した。水鳥たちの饗宴を遠巻きに見ているカラスやハトたちには目もくれなかった。撮った写真は数百枚に達していた。

あとで調べたら、どうやらそうか公園修景池は野鳥の楽園らしい。

「しらこぼとNETWORK」というサイトの「そうか公園（草加市）」というページ

埼玉県B級ご当地グルメ王決定戦 in 草加 : 草加農業祭

2012年11月23日 綾瀬川左岸広場

2012年12月9日 草加市民体育館

この日、無情にも天候は雨。いい天気
に恵まれれば、かなりの人出が期待され
ていたはずの大イベントだ。ちゃんと人
が集まるのだろうか。松原団地駅から会
場となる左岸広場までの松並木には、ス
タッフが寒そうに立っている。さて会場
は……。

開始30分ほど前に到着したのだが、
すでに人気の店には行列ができていて
良かった。さっそく前回優勝の「トマ
トカレー」に並ぶ。民放テレビ局も取
材に来ていて、「大イベントなんだな」
と改めて感心した。そのあといくつか
自宅に持ち帰り再参加。全36品のうち
10のグルメを食べることができたが、
そのうち5つが入賞。なかなか勘がさ
えている。

今回しか参加していないので比較は
できないが、悪天候のため仕入れを控



会場には恒例の「舟盛り野菜」がどー
んと置かれている。毎年どこかに寄付さ
れていたそうだが、今年はその
場で解体され、会場で「競り販
売」された。

筆者は当日「農
産物の即売会」

12月9日、草加市民体育館にて、44回
目となる「農業祭」が開催された。今ま
では草加駅東口広場とアコスホールだっ
たが、今年は初めて場所を移しての開催。
前日に市内農家の自慢の農産物が出品さ
れ、品評会が行われる。当日は即売会、他に
くわい料理の試食、つきたて餅・小松菜
マフィン・めがでるぶりんなどの販売
野菜や花などの直売コーナーもある。

会場には恒例の「舟盛り野菜」がどー
んと置かれている。毎年どこかに寄付さ
れていたそうだが、今年はその
場で解体され、会場で「競り販
売」された。

筆者は当日「農
産物の即売会」



優勝：餃子入りパイタン高麗鍋（日高市）
準優勝：そうからあげ（草加市）
3位：こうのす川幅うどん（鴻巣市）
4位：武州深谷煮ぼうとう（深谷市）
5位：元祖八潮焼そば（八潮市）
6位：嵐山辛牟ツ焼そば（嵐山市）
7位：飯能すいーとん（飯能市）
8位：東松山味噌だれ焼きそば（東松山市）
9位：狭山のさといもコロケ（狭山市）
10位：小松菜麺の草加風ジャージャーメン（草加市）

えたのか、屋過ぎに売り切れが始めて
しまったことは残念。ただ、「そうから
あげ」は表彰式の間も行列が途切れない。
たぶん夕ご飯用に購入するんだろうな。
とその人気振りを再確認。入賞は別表の
通り。草加陣は優勝は逃したものの2つ
とも入賞。次回も頑張つて欲しいな。

来年はどうなるかわからないが、今度
はしっかり早めに行つて、草加の地場野
菜をGETしたいと思う。

国際ハープフェスティバル 2012年9月～11月18日 草加文化会館ほか

草加は平成5年に「音楽都市宣言」を謳った
音楽の街である。そして最重要な事実、草加
市が国際的なハープの街であるということだ。
2012年秋、国際ハープフェスティバルは
24年目を迎えた。11月17日と18日のメインコン
サートに向けて、9月から市内各所（寺、駅コ
ンコース、病院、学校など、そして文化会館）
でハープのミニコンサートやハープ教室、コン
クールが開かれていた。それらの多くのイベン
トをトータルしたものが「国際ハープフェスティ
バル」である。

記者は、11月17日（土）のフェスティバルコ
ンサートを観に行った。

上野学園大学ハープアンサンブルの10人での
合奏、ハープとメゾソプラノ師岡カリナさん
の共演、フランスのシャンタル・マチューさん
のハープ独奏、草加市レバールハープアンサン
ブルの18人の合奏、アコースティックギターデュ
オ、ゴンチチの演奏、ハープバンド、ウララ&
ブラック・オリブの演奏を堪能した。

ゴンチチはゴンザレス三上さんとチチ松村さん
の2人組。多くのアルバムや映画音楽で大変に人
気のあるデュオだが、ライブは初めて見た。曲の
合間のひょうひょうとしたやりとりが面白かった。
たとえば、「今回ハープフェスティバルに呼ば
れたとき、最初はハープをハープかと思ってい
た。ラベンダーとかの」と冗談を言った。

最後のほうでゴンザレス三上さんがしきりに
足元をきよきよと見ていた。膝に置いていた
ギター敷きの布が行方不明になったのだ。

「小さいギターについてます」と前方の女性客の
声。途中で持ち替えた小型ギターに貼りついて
いた。

「ありがとうございます。草加の人は親切です
ね」と三上さん。「いい街だなあ。老後は草加で
喫茶店を開こうか。そうだとハープティー喫茶が
いい！」

見事にオチがついた。

そうか公園（草加市）（しらこぼと NETWORK）

<http://homepage3.nifty.com/shirakobato-network/town/sokakoen.html>



には、そうか公園と周りの柿ノ木田んぼに
生息している野鳥として、カモ（ホシハジロ、
カルガモ、キンクロハジロ、ハシビロガモ、
コガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、マガモ、
カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、
コサギ、ムナグロ、コアジサシなどの名前
が挙げられている。

灰色と茶色の交じった羽の色の鳥がたく
さんいたが、あれはカルガモらしい。

手から直接パンを奪い取った白くてきれ
いな鳥はユリカモメであることもわかった。
池の中の小さな鳥の木の陰に大きな白い
鳥が潜んでいた。しばらくしてゆつたりと
羽ばたいて空高く去って行ったが、あれは
ダイサギという鳥だったかもしれない。

今度撮影に行くときは図鑑を持って行こ
う。（じつに影

草加 UC (United Chirdren) 代表: 勝間 翼 さん



勝間翼くん。草加市で地域の活動をしている人なら、彼の名前を知らない人はいないだろう。

彼のブログのタイトルは「地元を愛する若人の日記」。ともかくその更新の頻度と文字の量は半端なく、文字通り「地元への愛」が溢れている。「平成24年度の活動」だけでもずらりと文字が並ぶ。新聞でも記事になったのが「草加UC(※1) 初代代表世話人」としての彼だ。2012年の宿場祭りの時、UCのブースを構えている彼を見かけ、すぐに「元気人」インタビューをしたいと声をかけて快諾してもらった。今は高校3年生。

「冒険遊び場」から始まった地域参加

地域とのかかわりは草加文化会館のそばにある「冒険遊び場」から始まった。「小学校2年生の終わりの春休み、学校から『冒険遊び場』があるとされて、両親と友達と行きました。当時は常設じゃなくて、土曜日などある時には毎回行っていました」

3年生になり、遊び場の壁に作ってある壁新聞みたいなものを見て「自分でもなんか作れそうだなと思って」手伝い始めた。

「遊び場の情報とか運営のお知らせとか。それを毎月かかさず作って遊び場の掲示板に張り出してもらって。それが5、6年生まで続きました」

「遊び場に行くことで、地域との繋がりができ

ました。学校や家庭が『縦』、友達が『横』だとすると、遊び場は『斜め』。今までこうだと考えていたことを、いろんな視点から見られるようになりました」

その活動を知る冒険遊び場のスタッフから声をかけられ、小中学生自身が制作する小中学生向けの情報誌「そっかいキッズ」の編集委員となる。

「冒険遊び場以外の地域の子どもの居場所を取材に行きまして、けっこう楽しかったです」

現在は草加市の地域活動をまとめた「マイステージ」(※2)の編集委員をやっているという。12月5日号には、草加UCの記事が掲載されている。

ユースサミットから草加UCの設立へ

中学生の時、「冒険遊び場」との繋がりのある「NPO法人子ども広場草加おやこ劇場」(※3)の活動に参加するようになる。

「そこで中学生以上の青年が企画する『子どもキャンプ』の実行委員長に誘われて」

それをきっかけに、公益社団法人草加青年会議所(JCC)が主催する地域団体「ユースサミット」に参加。毎年4月に行われる「春の子どもフェスタ」を始め、地域のさまざまなイベントに深くかかわるようになる。ただ「ユースサミット」は小学生がメイン。

「最初はけっこう上の世代、先輩達がいって楽しくやっていたんですが、中学生になって気がついたら下の世代ばかりで…」

草加の中高生が自主的に活動するための場として「草加UC」は設立されたのだ。

「UCは2001年に浜松市でお祭りを自分達で企画しようところから始まったんです、埼玉県にはさいたまUCと草加UCがあります」

草加市は地域とかかわる中高生が多いと思

う?という問いには、わからないとの答え。「一応全国から当事者意識を持った中高生や、いろいろな起業家が集まる講演会とかワークショップに参加しているんですが、全国には意識の高い人がたくさんいるんだあと、草加はまだこれからだなと思いました。むしろ、逆にこれからいろいろなことができる、と実感しました」

中高生にもっと地域の活動をしてもらいたい

「中高生って部活に力を入れている人が多いですよ。それはそれでいいのですが、もしそこで物足りないな、と思う人がいたら、地域の活動にかかわってもらいたいんです。地域の人たちとふれあいながら、地域に貢献していくことによって、最終的には日本という国に生まれて良かったなあって思える。それはちょっと大げさなんですけれども、そうなるもらえるような仕組みをつくっていききたいです」

今のUCの活動を聞いた。

「新しい代表が決まって、来年1年のスケジュールを組み立てました。今は東北地方への634人の応援メッセージを集めるプロジェクトを行っています」

「それから、今年(去年)草加でいじめの問題がありましたね。それで話し合いをして、やっぱり当事者である中高生がやらなくては、いじめの構造については自分たちで考えることが大事だなと考えることができました。それで、獨協大学地域と子どもリーガルセンターの専門家の方と協力し合って活動したいと考えています。具体的



には、草加市内から中高生を募って、ワークショップ形式で自分たちの経験談、いじめられた経験やいじめた側の話を聞きたいと思っています。そして、草加市内の『ユースサミット』などを通じて小学生にも伝えていく。そんなことを最終的な目標としています」

勝間君のインタビューでは、「草生人」を作ることでも知った人の名前が次々と登場する。地域のために活動しているキーマンは繋がっているのだ。

「普通のサラリーマン家庭に生まれて、こういった活動に出会わなければ、なんとなく普通の人と同じように部活に明け暮れていたのかな、と思います。今は地域の人のとの繋がりが深まって、今度は自分達が地域を担っていくという気持ち芽生えてきました。自分だけではなく、同じような生活をしている中高生も、地域にかかわることで、地域に関心を持って欲しいと思います」

勝間くんの活動に興味を持った方は、ブログをぜひご覧になって欲しい。インタビューはあくまでイントロダクションだ。ブログの最初の言葉に、思いのすべてが詰まっている。

『私が考える「地元を愛する」とは、その土地の歴史、文化、自然、人すべてを慈愛の精神で受け入れること。それは、自国を愛することにも祖先を敬うことにも結びつく』

草加のタウン誌である本誌にとっても重い言葉だ。しっかりと意識に留めておきたい。

地元を愛する若人の日記: <http://zimotoai.blogspot.jp/>

※1 UC (United Children): 全国各地で中高生が自主的に設立している団体。詳細は <http://unitedchildren.jp/>

※2 マイステージ: 「生きがいを見つける生涯学習情報誌」: <http://www.city.soka.saitama.jp/shimin/koho/h24/12120550/>

※3 おやこ劇場: <http://www.souka-oyako.net/>

そうか小ばなし

冬の地縛霊

夜のジョギングはいろいろと危険なので、朝走ることにした。

朝のジョギングで、ついつい目がいってしまふのがタバコの吸い殻だ。

草加市内の道路は、駅周辺の表通りはそうでもないが、ちよつと引込んだ通りや国道の歩道には、けつこう吸い殻やタバコのパッケージが落ちている。一見きれいなような道でも、街路樹の根元をじつと見ると枯葉に交じって吸い殻があつたりする。

数年前、小学生だった娘の変つた宿題につきあつたことを思い出した。それは街を歩いて、路上に落ちてゐるタバコの吸い殻の本数を調査するといふものだった。

下を見ながら歩く。交差点の隅に吸い殻を発見し、数える。

「20本!」と、手書きの地図に本数を記入する(大げさでなく、吸い殻の量はこれぐらいのオーダーなのだ)。

「信号待ちしながらタバコを吸って吸い殻を捨てる人が多いのかな」と人物像をイメージする。

つづいて自動販売機の前に吸い殻を発見。「17本!」と地図に記入する。

「ここはコーヒーを買ってタバコを吸いながら飲む人がいるんだろうね」

駐車場の前にも発見。「車を停めてからちよつと一服したのかな?」

公園の前にも発見。「昼休みに休憩しながら、とか?」

このように調査は進められた。

だがどうしてもイメージが湧かない箇所もあった。交差点でも自販機前でもない、ただの1直線の道の特定の場所に吸い殻が集まつてゐる。

「誰かを待つていたのかな」と娘。「吸い殻の量からすると、だいぶ長い時間待つたんだろうな」

さてその謎の吸い殻スポットだが、先日ジョギングついでに寄つてみたら、あれから数年たつのに相変わらず吸い殻が溜まつてゐた。

つまり、目には見えないけれど、その誰かを

待つていた人は数年間たつてもまだ誰かを待ち続けている、ということだろうか。もはや地縛霊だ。

「その地縛霊、吸い殻を全部拾つたら消えるんじゃない?」

と、娘からはそんな仮説が投げかけられた。「なるほど除霊か!」

「じよれい?」

「そう。地縛霊を救つてあげるんだ」

「救われるといいね」

「もしかして、交差点も自動販売機前も駐車場も、吸い殻がたまつた場所はどこもかしこも地縛霊だらけかもしれないぞ」

「まとめて除霊できればいいね」

さあ、草加一斉除霊作戦を開始しよう。

(じつに彰)



草加風景 (c)2013asymos

chavi peltó
趣のある野菜たち

畑からお届け! 特別特産野菜

産地直送果物 有機野菜

ベジデリ&玄米お弁当

ファーマーズハウス チャヴィペルト
340-0034埼玉県草加市東月町2138-3
TEL. 048-951-7583
www.chavipelto.co.jp



生徒募集中
基本から
実用書道、
作品制作まで

書

**山崎秀鷗
書道教室**

☐入会金・月謝
中学生以下: 4000 円、高校・一般: 6000 円
☐稽古日
毎週木曜日午後3時~9時

草加市中央 2-1-14 ☎ 080-5026-1791
Web: http://shu-oh.com/

Mr & Mrs Beans ファミリーカットサロン

☎ 048-920-4780 営業時間 平日 9:30 ~ 20:00 土日祝 9:00 ~ 19:30

ご家族どうぞ! 理美容一体型サロンです!

メンズカット (シャンプー顔そり付)	1,890 円
子どもカット (シャンプー別)	945 円
レディースカット (シャンプー別)	1,890 円
レディースシェービング	1,890 円
ヘアカラー	3,990 円~

お子様大歓迎!! ママとだっこカット

「だっこ」しながら "0歳児" から 1,575 円 カットします!

草加駅東口徒歩 1 分

マツキヨ ヨーカドー マルイ カルピタ草加 三番館 1F

月々思々・編集より

今回もまた遅れてしまいました。深くお詫言いたします。

年賀状作成、年末年始のドタバタ、メルマガの発行 などなど、「言い訳」はたくさんありますが、「定期的発行」が条件となる「広告掲載」のお願いがうまくいかないのも当然で、そのためさらに遅れてしまつたといううな本末転倒なことになっています。しっかりとなくちゃですね。

ただ、購読者は少ないですが、メルマガの方はなんと12号まで発行することができました。今回、メルマガに掲載した「草加小話」のひとつを、空いた広告スペースに入れてみました。「まぐまぐ」は購読手続きのハードルが高いので、現在いろいろ考え中ですが、もし興味を持って頂いたら、ぜひメールでお問い合わせください。

また、近いうちに無料のメルマガも発行予定です。準備できましたら、ツイッターなどでお知らせします。

さて、今回、花屋さんの特集をして、美しい花の写真をたくさん撮影することができました。素人撮影ですが、掲載した写真以外の素敵なものをいくつか、フェイスブックに掲載しています。左のQRコードからどうぞ。

それから今回「元氣人」にご登場いただいた勝間くん、本文でも触れた通り活発な地域活動をされ、それをブログに書かれています。講演会のためや体験レポートはわかりやすく、小学生の時から「壁新聞」などの編集にかかわって「人に何かを伝える文章」を手がけてきただけのことはあります。インタビュー記事では、ご本人の思いのほんの少ししかお伝えできていません。本当にぜひぜひブログを読んでみてください。

今回は防災特集の予定です。これからもしよろしく願います。



草生人 Web

バックナンバー PDF の配布、最新刊の内容、編集長ブログ、記事の関連 URL のチェック、配信先一覧が確認できます。お問い合わせもこちらからどうぞ。

<http://www.asymos.com/soseijin/>



facebook



twitter

草生人メルマガ (まぐまぐ)



「草生人」のメイキング、記事の速報やコラムなど、編集部が全開のメルマガです。月 105 円、みなさんの応援をおまちしています。

<http://www.mag2.com/m/0001574097.html>

トルコ料理 パディシャー

トルコのおいしい料理と
あったかいおもてなし

●ケバブ 480円 ●のびるトルコアイス 250円
17:00～24:00 (L.O.23:30) 休:月曜
☎048-927-1452 高砂2-5-6



テイクアウト・イベント出店もあり
<http://padiisah-soka.jp>

美味しい珈琲で
くつろぎのひとときを

炭火煎珈琲

炭火煎珈琲
平



あげたおにぎりにカニあんかけ。
やさしい味の
「オランダおにぎり」をどうぞ。

平日・土曜 8:30～19:00 日曜・祝日 10:00～19:00 水曜日定休
草加 2-20-13 (草加市立病院近く) ☎048-944-1130

IMPORT SHOP Bee

ALOAHA FARM

I MU A! ～前へ～日本の食文化を伝えていこう!!

那須高原から
生命力のある野菜や天然味噌、糀等を
販売しております。

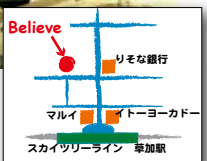
草加市高砂 2-7-1 アコス南館 1F

☎048-922-6797

HAIR

Believe

ビリーブ・ヘアデザイン
予約優先制 048-922-4035



営業時間: 平日 10 時～20 時
日祝 10 時～19 時
水曜日は夜 10 時まで営業
(12 時オープン)
定休日火曜日

草加市高砂 2-20-6-1F



コウテイさんの食パンを
使ったサンドイッチ、
水素還元水を使った
おいしい珈琲、
「はちのす湯床」の
オリジナル手作りカップで、
ゆったりとした時間を
ぜひどうぞ

林さんが作った
シフォンケーキ
珈琲・紅茶とセットで
550 円!
毎週味が違います!

美味珈琲 ツネ
草加市金明町 375-30 ☎048-932-1528
営業時間: AM8:30～PM8:00
定休日: 日曜・祭日

ラーメン・中華料理・定食類



ウマニソバ

中華 珍楽

048-924-0080

草加市氷川町 2124-2

草加駅西口店

12 時～2 時 / 6 時～10 時

火曜日定休

出前承ります

新年度生徒募集!

文部科学省後援 英検準会場資格登録校

English SQUARE

草加駅東口より徒歩 4 分

旧 4 号線

リソな銀行

武蔵野銀行

西友

ヨーカドー

東口

草加駅



草加市高砂 2-1-18

facebook ページ

スクエアなら英語が得意って言える!

英語 4 技能 (読む、書く、聞く、話す) を徹底指導

Let's Challenge! スクエアの体験レッスン!

基礎英語体験レッスン

無料

新小 5・6 年生、新中 1 年生対象

2 月 9/12/16/20/23/26 日 PM5:30 より

楽しい英語 I 体験レッスン

無料

新小 1～4 年生

2 月 19/25 日、3 月 4 日 PM3:20 より

英語圏の伝統文化にもふれあえる! Halloween パーティにて

お気軽にご参加下さい! お申し込みは ↓

イングリッシュ・スクエア草加校 048-922-5111